

マイナンバーカードが保険証に!?

2021年3月より、原則すべての病院でマイナンバーカードを健康保険証として使えるようになるようです。

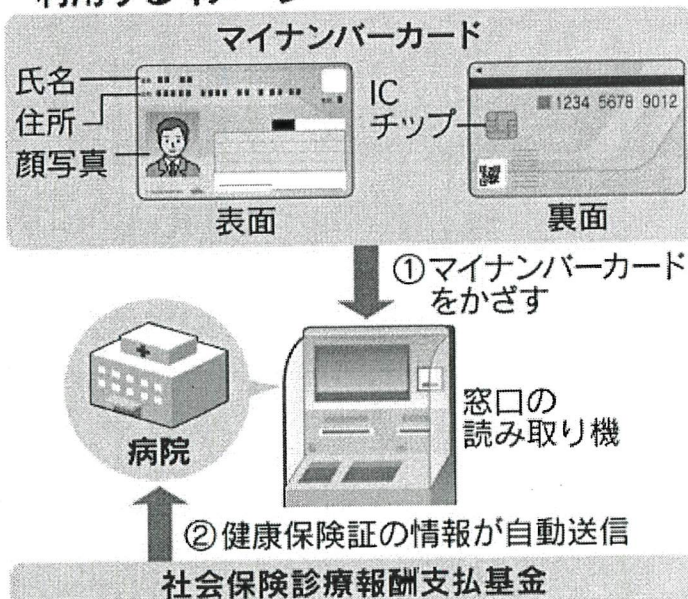
マイナンバーカードは、制度開始から普及率が1割程度にとどまっており、今回の案で、健康保険証の代用ができるようになれば、カードを取得する人が増えると期待されております。

イメージとしては、まず、マイナンバーカード裏面のICチップを医療機関窓口の読み取り機にかざします。

すると、保険証情報が病院に自動送信され、窓口で職員が保険証情報を書き取る手間がなくなるという仕組みです。

加えて、健保組合の判断で保険証をマイナンバーカードに切り替える事ができれば、保険証発行コストがなくなります。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するイメージ



また、電子化された保険証情報と患者のレセプト情報の紐づけにより、医者は患者の同意があれば過去の処方歴を把握する事もできるようになるそうです。

マイナンバーカードを利用する事でどんどん便利になる事も増えていますが、個人個人が「非常に機密性の高いもの」という認識を常に持った上で活用していきたいですね。

メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡ください。